

2022年6月21日

公益財団法人 日本セーリング連盟
公益財団法人 広島県セーリング連盟

東京 2020 オリパラから 1 年。多様性と包括のレガシー受け継ぐセーリング国際大会

10 月に国際平和都市・広島で同時開催

障がい者と健常者が共に競うチャンピオンシップとアジア初のパラ世界選手権大会



本年 10 月 20 日～23 日、広島観音マリーナ(広島県広島市西区観音新町)にて「**2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ**」および「**パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島**」が開催されます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催から 1 年。本大会は障がい者だけでなく健常者もハンディなく同じレースを競うユニークな大会で、東京大会が掲げた多様性と包括的な社会の推進を受け継ぐインクルーシブスポーツの国際大会です。また、スポーツだけでなく環境への貢献度も競い合う「SDGs レース」も合わせて実施するなど、新しい試みも導入します。

競技はどちらも「ハンザクラス」という、誰もがセーリングが楽しめるユニバーサルデザインの 1～2 人乗り小型ヨットを使用して行われます。「2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」は年齢や性別、障がいの有無や程度に関わらず、エントリー選手が一斉にスタートし周回コースを回る速さを競い合い、「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島」はパラリンピック競技のクラス分けに準じて順位を決めます。

パラセーリングの世界大会がアジアで開催されるのは初めてで、岸田文雄首相からも応援メッセージをいただきました。大会まであと 4 カ月です。

【大会概要】

大会名称	2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ & パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島 (通称:2022 ハンザクラスワールド)
開催期間	2022 年 10 月 20 日(木)～10 月 23 日(日)
大会会場	広島観音マリーナ(レース海面 広島観音マリーナ沖) 広島県広島市西区観音新町 4-14-6
共同主催	ワールドセーリング、(公財)日本セーリング連盟、 国際ハンザクラス協会、日本ハンザクラス協会
大会運営	2022 ハンザクラスワールド実行委員会 (公財)広島県セーリング連盟
後 援	広島県、(一社)広島県障害者スポーツ協会、(公財)広島県スポーツ協会、広島市、 広島市教育委員会、(公財)広島市スポーツ協会、広島市障害者スポーツ協会、 広島商工会議所、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、 広島ホームテレビ
参加(予定)	選手:約 10 カ国・約 120 人(6 月 20 日現在:61 艇エントリー) ボランティア:約 200 人
競技種目	ハンザクラス ①2.3 シングル ②303 シングル ③303 ダブル ④リバティ
大会日程	10 月 20 日(木) プラクティスレース・開会式・レセプション 10 月 21 日(金) ～23 日(日) レース(各クラス最大 8 レース実施予定)・表彰式(最終日)

【ハンザクラスとは】

競技艇の「ハンザクラス」は障がいの有無や程度、性別や年齢にかかわらず、誰もが一緒に楽しめる小型ヨットで、世界 27 カ国に約 3000 艇、日本には約 300 艇が普及しています。重度の障がい者、例えば四肢麻痺の選手は補助器具を取り付けることで、口を使ったり、息を吹き込んだりして操船が可能になり、健常者と障がい者が互角の戦いをすることができます。国際大会では障がい者が優勝することも多くあります。健常者と障がい者がともに競い合うパラスポーツはほかに例がなく、インクルーシブ社会が進展する中で改めて注目を集めています。



1 枚帆のハンザ 2.3



2 枚帆のハンザ 303 ダブル(2 人乗り)



ハンザリバティで息を吹き込み操船する選手

【SDGs への取り組み】

日本セーリング連盟および広島県セーリング連盟では、セーリング競技大会を開催するにあたり環境への負荷を減らす取り組みを積極的に行っており、今大会では ①選手や関係者が取り組むサステナビリティ活動をポイント化し優秀者を表彰する SDGs レース ②大会記念品としてマイボトルを配布しハーバー内に給水スポットをもうけてペットボトルの利用削減を促す ③使用済みセールを使ったリサイクルバッグのワークショップを開催 ④近畿大学工学部(東広島市)と協力しレース海域でのマイクロプラスチック調査など海洋マイクロプラスチックの影響を知る活動を行う予定です。

【2 大会同時開催の運営方法】

レースは種目別にエントリーした選手全員が一斉にスタートし、フィニッシュした順位を点数化した合計で競います。健常者も含めたオープン大会「2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」は種目別に全選手で順位をつけ、そこから障がいの程度に応じ事前にクラス分けしたパラワールド出場選手を抽出し、パラリンピック規定により「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス」の成績を決定します。

【パラリンピックにおけるセーリング競技】

セーリング競技は 1996 年のアトランタ大会でデモンストレーション種目として採用され、2000 年のシドニー大会から公式種目に採用されました。その後、2016 年のリオデジャネロ大会まで 5 大会連続で公式種目として採用されましたが、東京 2020 大会では実施されず、パリ 2024 大会でも実施されないことが決まっています。現在、ワールドセーリングを中心にロサンゼルス 2028 大会での復活を目指しキャンペーンを行っています。

【広島とハンザクラス】

広島ではハンザクラスが日本に紹介された当初から 20 年余りにわたり、障がい者や初心者を対象としたセーリング普及活動を活発に行ってきました。2018 年には 24 カ国・地域から 191 人の選手が参加した「ハンザクラスインターナショナルチャンピオンシップ」を開催した実績があります。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

2022 ハンザクラスワールド広島実行委員会

公式サイト：www.hansaclub-hiroshima.com
(岸田首相のビデオメッセージはこちらをご覧ください)

メール：media.hansaclub-hiroshima2022@jsaf.or.jp
電話：伊藤通祐(株式会社みづま工房 082-236-8141) 西朝子(090-1042-9262)